



議会だより

今回の題字は、^と戸^だ田^{はや}隼^と人 くん（美土里小学校6年生）です。



集え！学べ！遊べ！美しい土の里で！！

～ 学ぶことが楽しい学校を！ ～

安芸高田市立美土里小学校



新しい時代の教育へ向けた
研究・実践・普及

広島県教育委員会「『学びの変革』パイ
ロット校事業」の指定校（H27～H29）



学舎融合施設

木の温もりを生かした
オープンスペースの学校



緑の芝生を生かした体力づくり
「全国小学生ラジオ体操コンクール」
3年連続入賞（優秀賞、3位、3位）



市立図書館を活用した
読書活動の推進

H27文部科学大臣表彰（子供の読
書活動優秀実践校）を受賞



地域との連携教育の推進

地域の方の指導のもと、稲作体験を通
して米づくりについて考える（5年生）

9月定例会……………2～3

27年度決算審査……………4～6

常任委員会報告……………8～13

一問一答

12人が市政を問う…14～20

議会改革特別委員会報告…21

議会報告会・高校生との意見交換会…22～24

あんな こんな

地域のかがやき……………26

特別会計

認定

歳出総額 302億9889万円

合計画による3つのまちづくりに挑戦

9月定例会

9月定例会を9月9日から9月30日までの会期で開催しました。

水道事業会計を含む13会計の27年度決算は予算決算常任委員会へ付託し、本会議最終日に全て全員賛成で認定しました。

(決算審査は4～6ページに掲載)

一般会計補正予算など14議案を、いずれも原案のとおり可決しました。(補正予算審査は7ページに掲載)

一般質問では、12人が市政を問いました。(14～20ページに掲載)

市長の給料月額を4ヶ月100分の30減額

○市長の給料の特例に関する条例
〔概要〕市長の出張旅費問題に関して、その責任を明らかにするため給料月額を28年10月から29年1月までの間、当該額の100分の30に相当する額を減じた額とする。この条例は、29年1月31日限り、その効力を失う。

■ 質疑

青原 この処分を受けて、今の市長の気持ちはどう。

市長 議会の調査特別委員会等で調査を賜り、いろいろ議論をいただいたが、このことは謙虚に受け止め、今後行政に反映していきたいと思っている。私の自らのけじめとして、今回の処分を提案した。

■ 採決

全員賛成



本会議の議決風景

27
年度決算

一般会計 ●

歳入総額 313億8661万円

合併後10年経過 第2次安芸高田市総

付議された案件

決算認定関係13件

- 認定第1号 27年度一般会計決算の認定について
- 認定第2号～12号 特別会計決算の認定について（11特別会計）
- 認定第13号 27年度水道事業会計利益の処分及び決算の認定について（公営企業会計）

条例関係4件（新たな条例制定又は条例の一部改正）

- 議案第60号 芸北広域環境施設組合を組織する地方公共団体の区域の変更及び芸北広域環境施設組合規約の変更について（北広島町芸北地域が加入するため）
- 議案第61号 特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例（手話通訳者を配置）
- 議案第62号 高宮レインボープラザ設置及び管理条例を廃止する条例（株ウエストエナジーソリューションに譲渡のため）
- 議案第73号 市長の給料の特例に関する条例（28年10月から29年1月までの市長の給料月額を決定）

公的財産関係1件

- 議案第63号 財産の無償譲渡について【高宮レインボープラザ】

補正予算関係9件

- 議案第64号 28年度一般会計補正予算
- 議案第65号～71号 28年度特別会計補正予算（7特別会計）
- 議案第72号 28年度水道事業会計補正予算

型建設事業が概ね終了 年々縮小傾向

予算決算常任委員会

9月9日の本会議において審査を付託された27年度一般会計・特別会計・公営企業会計決算を9月26・27日の2日間委員会を開き、慎重に審査しました。

委員長	金行哲昭
副委員長	秋田雅朝
委員	議長・監査委員を除く全議員

ひとくちメモ

○一般会計

通常の行政事業の範囲で必要となる経理

○特別会計（11会計）

- 一般会計から切り離して独立して行われる経理
- 国民健康保険
- 介護保険
- 簡易水道
- 公共下水道
- など

予算決算常任委員会委員長報告（抜粋）

決算を数値化した財務指標の大半は、改善が続いている。

経常収支比率は、普通交付税の合併特別加算の段階的な縮減が始まり、経常的収入が減ったこと、新たな指定管理施設の増などで施設管理経費が増えたことにより、27年度は26年度より悪化した状態となっている。

主な質疑

■一般会計

■総務部

Q 高等学校支援活動補助金で、高校から効果があった旨の報告は。

A この助成は27年度が初めての交付。



効果が期待される両校の活用

吉田高校は、河合塾のサテライト講座の受講、向原高校はICT機器の導入をされていた。

実際の効果は来年度以降となるが、両校とも十分な活用をいただいている。

■企画振興部

Q 光ネットワーク管理運営事業で、お太助フォン設置台数は、当初と比べ増えているのか。

また、市内で転居した場合、撤去と設置の両方に費用が発生すると聞いているが。

A 26年度と比べ79台減少しているが、インターネットのみの利用が増え、トータルは微増。市内転居時の費用は、電柱までの撤去と電柱からの設置の両方の費用を支払っていただくことになっている。



一家に一台「お太助フォン」

新市建設計画に伴う大 予算規模は



症状に応じた救急業務を実施

■ 消防本部・消防署

Q 救急搬送において、病院側との連絡に時間を要する話を聞くが、そういった苦情があるのか。

A 現場で病院の手配に時間がかかるときもあるが、まずは傷病者の状態を確認し、症状に応じた適正な病院の選定を行う必要があるため、致し方ないと考ええる。

■ 建設部

Q 住宅管理事業で、築年数の経過による改修工事、修繕工事を実施されているが、目に見えない内装工事はなかったのか。

A また、小規模な工事の対応は、市有住宅は、ガス設備が法令で定められた年数を経過しているため更新。郡山住宅の厨房設備を一齐に更新した。修繕工事は、早い対応を踏まえて、近隣の指定業者へ依頼している。



内部改装をした郡山住宅

■ 福祉保健部

Q 特別養護老人ホームの入所待機者は何人か。今後の方向性として、増床の計画は。

A 特別養護老人ホームの入所待機者は、本年3月末時点で234名。施設の増床計画は、第6期介護保険事業計画の中で30床の増床を計画しており、計画のある社会福祉法人と、時期や場所について協議している。



増床された特別養護老人ホーム甲田

■ 教育委員会

Q 生徒指導推進事業で、県警OBのスクールサポーターの派遣により、児童生徒の問題行動の抑止に効果があったと説明があったが、現在の学校の状態は。

A 27年度は、特定の学校において課題があったが、スクールサポーターの定期的な巡回と助言、また、保護者や関係機関等との連携により、現在は落ち着いている。他の学校も落ち着いてきた状態である。



スクールサポーターによる巡回

有害鳥獣対策は3つの柱で推進

- ① 捕獲し処分する ② 自ら農地を守る
③ ジビエとして活用していく



観光消費額増に向けて

産業振興部

Q 有害鳥獣対策事業で、駆除を行っても農作物被害額の減少が見られない。防護柵の方が効果があると思われるが、今後、駆除と防護柵への補助で、防護柵を強化する考えは。

A 有害鳥獣対策は、捕獲し処分する、自ら農地を守る、ジビエとして活用という3つの柱として推進している。

自ら防護柵の設置、その後の適正な管理をし、被害から守ることは、今後大きな柱の1つとし、支援を継続していきたい。

観光振興事業

Q 観光振興事業で、入込観光客数が8万人程度増え、成果が出つつある。

一方、観光消費額は目標に対し4800万円程度実績値が低い。収益事業を積極的に展開することが必要では。

A 指摘のとおり観光消費額が伸び悩んでいる。

これは、お土産品等を市内で買っただけで仕組みづくりや、周遊性を高める必要があると考えられる。27年度に作成した「第2次観光振興計画」にのっとり、しっかりとやっていきたい。

市長の出張旅費に関する事務検査特別委員会（最終報告）

28年2月24日、第1回定例会において、第9回までの委員会の検査状況について中間報告を行い、先に開いた第21回委員会において全ての検査を終了しました。

その結果を8月26日付で議長に最終報告を行いました。

検査内容は、24年度から27年度（4月～12月分）までの出張旅費が適正に処理されていたかを検査しました。

また、28年度（4月～6月分）の出張旅費については、中間報告での指摘事項を反映した事務改善がなされているかを検査しました。

詳細については、これまでの議会日より（第48号）（臨時号）（第49号）（第50号）で報告していますので、今号では最後のまとめの委員会報告を掲載させていただきます。

まとめ

過年度分については、日当の他団体からの支給と市費の重複支給分についての返納がなされたほか、中間報告での指摘により、「旅費の手引き」「タクシーを利用する際の基準」が策定されている。

28年度（4月から6月分）については、旅行計画の作成、タクシーの使用、土産の購入等が適正に処理されており、事務の改善も図られ、関係書類等の不備を見受けなかった。しかしながら、公用車使用簿（様式）は運行内容を明確にするため、改善を求めた。

他団体から支給のあった旅費日当の返納に関しては、本委員会が指摘した結果判明した。一般質問や本委員会における市長及び執行部の答弁に疑問を生じたものの、他団体との協議の結果を受け最終的には説明したものと考える。

28年度の出納閉鎖後には、事務改善の検証及び成果等について、議会に報告されたい。

28年度補正

既定の予算総額に4億2306万円を追加
 (一般会計総額 201億7068万円)
 審査終了後、意見として3点申し入れあり!

可決

主な質疑

■ 企画振興部

公衆無線LAN (Free Wi-Fi) 設置業務委託料について

Q 広域連携による取組みとはどういったものか。

A 広島市が中心に設置してきたが、連携中枢都市圏の市町で取り組むことになり、本市も3箇所設置を予定している。

■ 福祉保健部

地域介護・福祉空間整備推進補助金

Q 具体的な内容は。

A 介護用ロボットなどの導入に係る国の補助で、介護者が重たいものを運ぶ際、人工筋肉を使って動作の補助、電動での高齢者歩行補助を行い転倒を防止するもので、介護事業所に導入予定としている。



介護ロボット

「ずっと元気に歩きたい!」
 そんな想いを叶える新・歩行体験
 RT.1が提供するのは、「新たな歩行体験」。
 人の動きを感じ、歩行を電動でアシスト。
 モーター駆動で坂道も安全・快適に上り下りできます。
 操作は簡単、ハンドルに手を添えて歩くだけ。
 ロボットアシストウォーカーで家族も安心。
 ロボットとIoTの最先端技術が、
 安心して安全な歩行を保證します。

■ 産業振興部

有害鳥獣対策事業費

Q ギビエ特産化委託料1700万円が、同額で工事請負費に変更になった説明を。

A 6月定例会で予算化したのが、国へ交付金の申請を行う段階で事業内容を精査した際、施設改修等の必要性が生じたため、コンサル委託料を減額し、同額を工事請負費とした。



購入予定の竹チップパー

ひろしまの森づくり事業費について

Q この事業で整備する竹チップパーを市の管理とした理由と機械使用の対象について説明を。

A 当初は関係団体に補助金として整備を考えていたが、機械の耐用などを考慮して、市の管理とした。使用は竹チップ堆肥の推進として、地域おこし協力隊員のプロジェクトでの活用を考えている。

委員からの意見

1. 各部の要点説明において、大まかな説明となっている部署があるため、補正目的を明確に詳細な説明をいただきたい。

2. ギビエの特産化推進事業については、一貫した流れが見えないため、事業実施にあたっては早急に説明を求めたい。

3. 国道沿線活性化事業は、進捗にあたってしっかりとした情報提供を求めたい。

総務企画常任委員会

9月20日に委員会を開き、議案1件を慎重に審査しました。また、2件の所管事務調査を行いました。

(主な審査)

○特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

(所管事務調査)

○地域おこし協力隊について

○広報誌の業務委託について

- 委員長 石飛慶久
副委員長 玉井直子
委員 水戸眞悟
熊高昌三
藤井昌之

手話通訳者を新たに配置

■概要

手話を使用されている聴覚などに障害がある方へのコミュニケーション支援のため、手話通訳者を新たに配置することに伴い、報酬額を定めるもの。

■質疑

熊高 関係団体との連携を含め、どのように取り組まれていくのか。

佐々木社会福祉課長 聴覚障害の方については、これまで筆談で窓口対応をしてきたが、筆談では思っていることを十分に伝えられないことや説明が十分でないことがあった。

障害者差別解消法が施行されたことに伴い、手話通訳が必要な方に対しての合理的配慮として、この度設置。窓口には広島県手話通訳者の認定者を配置し業務にあたる。

藤井 聴覚障害等により市役所へ行きたくても行くことができない方への配慮として、ファックスやメールによる受付サービスなど、意思疎通を図ることができ体制を早急に検討いただきたい。

佐々木社会福祉部長 いろいろな障害で困りごとがあると思うので、十分に検討しながら進めていきたい。



地域おこし協力隊員 (27年4月1日委嘱)

地域おこし協力隊について

■質疑

玉井 三年間のうちの一年半が過ぎていくが、隊員の先行きは見えているのか。

猪掛政策企画課長 採用の時点で希望は聞いている。今

行っている事が起業や将来の仕事に関連していけば一番いいが、毎月の定例会議の中で状況を確認しながら、情報交換を行っている。いろいろな助言をしながら一緒に起業や定住に向けた取組みをしたい。

広報誌の業務委託について

業務委託は、広報誌の編集に民間のノウハウを取り入れるなど、市民にわかりやすく読まれる紙面づくりを目的としている。メリットは、専門業者を活用することで紙面構成・デザイン力などの専門性を生かし、イラストや写真を活用して視覚的にも見えやすくわかりやすい紙面づくりができると思われる。

市と共同で企画編集会議を行い、取材編集から印刷仕上げまでの業務を一括して業者が請け負う。ホームページやSNSでの情報発信力の強化につなげることも目的としている。

先進地視察

ふくい 福井市 (福井県)、 ひみ 氷見市 (富山県)、 えちぜん 越前市 (福井県)

7月27日～29日

視察地	視察テーマ	特 徴
<p>ふくい 福井県福井市</p> <p>人 口：266,690人 世帯数：100,207世帯 面 積：536.41km²</p>	<p>◇豪雨（防災）対策について</p> 	<p>◇平成16年豪雨災害後の取組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河道内の流況改善や堤防強化をはじめハード面を充実。 ・災害時に応急業務と継続性の高い通常業務を的確に行う対策として業務継続計画を策定。 ・住民や自主防災組織等の連携を日常的に強化。
<p>ひみ 富山県氷見市</p> <p>人 口：48,012人 世帯数：16,089世帯 面 積：230.56km²</p>	<p>◇地域交通について</p> <p>◇高校体育館を庁舎に再利用</p> 	<p>◇NPO法人の運営による地域交通について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の地理的条件を生かし個別の取組みを全市域につなげている。 ・地区によっては年会費制の運行がされ、地域内の見守や車内での交流にも役立っている。
<p>えちぜん 福井県越前市</p> <p>人 口：83,717人 世帯数：29,352世帯 面 積：230.70km²</p>	<p>◇WebGISオープンデータ活用の取組み</p> 	<p>◇オープンデータ活用の取組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「越前市ぐるぐるマップ」は組織を超えた連携により構築され、行政全体で共有可能とした。 ・地図データを市民や民間へオープンデータとして公開。

ま
と
め

福井市は、豪雨災害を教訓に防災の取組みの強化が行われていた。住民の命を最優先にした取組みは自主防災組織の実働が急務であると感じた。

氷見市の地域交通は、地域づくりのみならず全市的な視野で構築されていることが参考になった。

越前市は、システムの導入により業務の効率化が図られていた。今後、幅広い分野での民間活用の期待が高く、本市でもさらなる導入の検討を進めたい。

文教厚生常任委員会

9月21日に委員会を開き、議案1件を慎重に審査しました。また、1件の所管事務調査を行いました。

(主な審査)

○芸北広域環境施設組合を組織する地方公共団体の区域の変更及び芸北広域環境施設組合規約の変更について

(所管事務調査)

○安芸高田市のごみ処理の現状について

- 委員長 前重昌敬
- 副委員長 久保慶子
- 委員 下岡多美枝
- 委員 児玉史則
- 委員 金行哲昭
- 委員 青原敏治

芸北広域環境施設組合の組織と規約の変更

(29年4月1日施行)



芸北広域きれいセンター

■概要

29年4月1日から、芸北広域環境施設組合に北広島町芸北地域を加入させることに伴い、組織と規約を変更するもの。



きれいセンターへ北広島町芸北地域が加入

■質疑	■執行部の答弁
<p>久保・青原 甲田町と向原町が加入する際には、いろいろと条件が付いていたが、今回も条件があるのか。</p>	<p>横田環境生活課長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ収集を現在は北広島町の業者が行っているが、安芸高田市分については安芸高田市の業者を使用する条件を付ける。 ・加入負担金として、きれいセンターの現在の資産価値を北広島町、安芸高田市の人口で割り、新たに加入する芸北地域の住民人口を掛けて算出した金額、約5,000万円から6,000万円を北広島町からいただき、これは組合の基金にされる予定である。
<p>青原 今後の分担金はどうなるのか。</p>	<p>横田環境生活課長 来年度から芸北地域の人口が加わるため、安芸高田市の按分は下がることになる。</p>
<p>下岡・金行 ごみの量が増えるが、きれいセンターの許容量の範囲内であるか。</p>	<p>横田環境生活課長 現在の搬入量と稼働率から考えると、芸北地域が加入されても十分に対応できる状況である。</p>

先進地視察

わこう とやま
和光市 (埼玉県)、富山市 (富山県)

7月6日～8日

視察地	視察テーマ	特 徴
<p>埼玉県^{わこう}和光市</p> <p>人 口：80,546人 世帯数：39,027世帯 面 積：11.04km²</p>	<p>■介護予防事業と地域包括ケアシステムについて (和光市役所)</p> <p>■小規模多機能型居宅介護事業所 認知症対応型共同生活介護施設 (サポートセンター広沢)</p> 	<p>■高齢者の外出を促す小規模施設を網の目のように張り巡らせ、介護予防・介護からの卒業を進めている。</p> <p>■住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるために、家族、地域の方々、そして福祉・保健・医療との連携のもと、地域社会全員の暮らしの中で共有する仕組みもある新しいサービスを行っている。</p>
<p>富山県^{とやま}富山市</p> <p>人 口：418,179人 世帯数：172,744世帯 面 積：1241.77km² 富山市立芝園小学校(632人) 富山市立芝園中学校(400人)</p>	<p>■ICT教育について</p> <p>■小中一貫校連携教育について</p>  <p>■地域共生社会の推進について デイケアハウス(にぎやか)</p>	<p>■1人1台のタブレットパソコンを活用した場合の教育効果を大学などと共同研究で実証し、学校で活用している。</p> <p>■同一敷地内に校舎を建設し、9カ年の成長を見越した指導を協力して行っている。</p> <p>■障害の有無にかかわらず、地域に住む乳幼児から高齢者まで、幅広い年齢層の方々を受け入れ、サービスを提供する『富山型デイサービス』。</p>

ま
と
め

地域包括ケア推進・介護予防については、安芸高田市が目指す地域共生社会の先進地であり、近隣住民が気軽に施設を利用し、世代を超えた地域住民の交流の場となっていた。

小中一貫的連携教育は同一敷地内の小中校舎にて、9年間を通した指導を進められていた。

ICT教育推進の取組みについては、タブレット端末や電子黒板を効率的に利用し、能力向上や表現力を伸ばすことに有効であり、本市でも積極的に推進すべきと感じた。

産業建設常任委員会

9月23日に委員会を開き、議案2件を慎重に審査しました。

(主な審査)

○高宮レインボープラザ設置及び管理条例を廃止する条例

○財産の無償譲渡について「高宮レインボープラザ」

委員長 大下正幸
副委員長 秋田雅朝
委員 玉重輝吉
先川和幸
穴戸邦夫
塚本近

高宮レインボープラザ設置及び管理条例を廃止する条例



概要

高宮町の旧ニュージールランド村に、地域の農作物を加工販売して、農業の活性化を図るため設置された高宮レインボープラザは、21年12月から施設の稼働が長年にわたり停止しているため、施設の譲渡を前提として設置及び管理条例を廃止するもの。



概要

同施設の国の補助事業の処分制限期間が経過し、安芸高田市公共施設等総合管理計画で廃止または譲渡となっている。敷地所有者の株式会社ウエストエネルギースリキュションから施設取得と活用の打診があり、協議が整ったことから、無償譲渡するもの。

質疑

玉重 維持管理費等、解体費用を踏まえ無償譲渡はやむを得ないと理解するが、活用方法について、定住促進につながる具体的な方法策はあるのか。

市長 解体に莫大なお金がかかるので、市の不要財産を処分するということで理解願いたい。

申し入れとして、今後の市の活性化につなげてほしいと要望している。今後も定住促進につながるような策を要望していきたい。



公共施設
約30%削減に向け

財産の無償譲渡について 『高宮レインボープラザ』

先進地視察

道の駅「^{にちなん}日野川の郷」(鳥取県日南町)

若桜町役場・わかさ^{にく}29工房 (鳥取県若桜町) 7月26日～27日

視察地	視察テーマ	特 徴
<p>道の駅(日南町) 「^{にちなん}日野川の郷」</p> <p>重点道の駅に指定 駐 車 場：83台 敷地面積：9221㎡ 延床面積：1480㎡</p>	<p>○地域の特産品を生かした産業振興</p> <p>○コンパクトヴィレッジ構想</p> 	<p>○6次産業の振興施設機能を持ち、農林産物加工所をテナントとして町内業者に貸出し、特産品の生産・加工・販売を推進。</p> <p>○道の駅を拠点として、人・もの・サービス・情報を集約し、効率的に「地域づくりの場」を創出。(コンパクトヴィレッジ)</p>
<p>日南トマト加工株式会社(日南町)</p> <p>18年にトマト農家6名で設立、19年に法人化。 道の駅開設に伴いテナントとして加工所に入る。</p>	<p>○農産物(トマト)の6次産業化</p> 	<p>○生産したトマトを使い(主力製品である)飲料、ケチャップ、ソース、惣菜に加工し、販売を推進。</p> <p>○道の駅開設により店舗を持ち、インターネット販売に取り組み、6次産業の振興を推進。</p>
<p>若桜町役場 わかさ^{にく}29工房 (獣肉解体処理施設)</p>	<p>○ジビエの特産化の取り組み</p> 	<p>○解体処理した獣肉を道の駅で販売。また、食堂でメニューとして使用。</p> <p>○猟友会会員が高齢化しており、後継者育成に向けて狩猟免許取得の助成対応。</p>

まとめ

日南町・若桜町を視察して、いずれも地域資源を特産物に変え、醸成させ、道の駅を拠点として販売を強化し、住民の所得を生み出す6次産業の推進に取り組んでいた。本市も重点事業の分野であり、更なる研究をし、地域活性化につなげる取り組みが必要である。

一問一答

12人が 市政を問う

一般質問は発言者本人が文章を作成しています。



インターネット議会中継

みてください！一般質問・本会議を

〔視聴方法〕

市ホームページ → 安芸高田市議会 → 議会中継

<http://www.akitakata.jp/ja/parliament/>

これまで、映像や音声途切れたり配信が停止されることがありましたこととお詫び申し上げます。インターネット回線の状況やUSTREAM社のメンテナンス、その他ご利用のパソコン環境などにより、正常に視聴できない場合がありますので、ご了承ください。

玉重 安芸高田市の

玉重 一定の収入とはどれくらいか。
市長 総務省が出している4人家族で440万円と認識している。

玉重 市長の推進する安芸高田市での人生ビジョンとは。
市長 働くことで一定の収入を得て、文化、芸術等幅広い活動に参画し、バランスのとれた人生を送っていただきたい。



玉重 輝吉 (無所属)

人生ビジョン

安芸高田市で暮らす上で推進する人生ビジョンとは
市長 一定の収入を得て、文化、芸術等幅広い活動に参画し、バランスのとれた人生を

民間平均所得年収は約254万である。夫婦（妻はパート）合わせて約360万程度の年

収所得では、子供2人を大学まで行かせるビジョンは描けないのでは。
市長 非常に答えるのが難しい課題である。現実を謙虚に受け止め、学校教育、住宅問題等、定住対策に真剣に取り組む。



子育て2人以上の家族が安心して暮らせるビジョンを

水戸 本郷横田地域の水道事業の供用開始に敬意を表す。来年度から水道企業会計が編入一本化されるにつき、会計事務処理が負担増となるが、水道料金等市民負担への影響は。



水戸 眞悟
(絆)

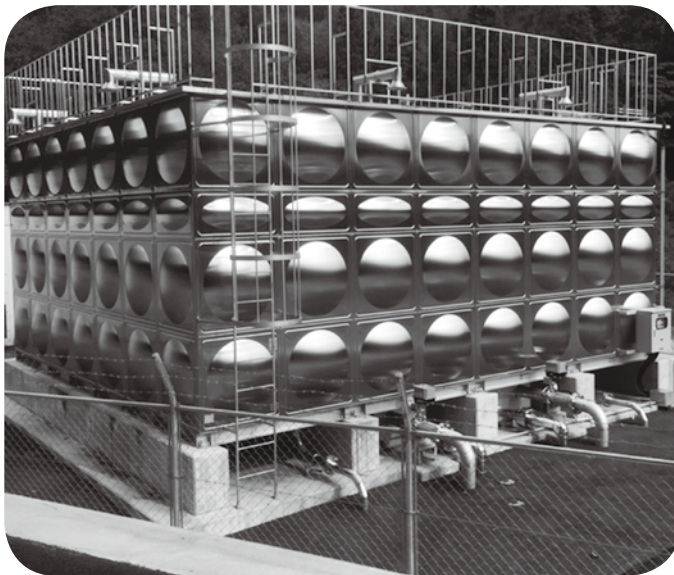
水道事業

統合による負担増は

市長／補助金で対応する

行政嘱託員制度について

市長 水道企業会計に投資効果の希薄な特別会計事業の編入による財源措置は、当面一般会計からの補助金で対応する。水道料金については、今後の課題として協議会などで検討を重ねる。



横田浄水場が稼働

水戸 少子高齢化等により、行政嘱託員の選任が困難な地域が増加している。行政情報提供機能の見直しが喫緊の課題であるが。

市長 制度の有効性を認識している。アンケート調査により、課題解決に努める。

産直市の担い手について

水戸 農産物の生産

水戸 農作業の事故が増えている。事故防止に向け、調査、傾向分析、対策など取組みが必要では。

市長 実態に応じた調査、分析の結果、必要性があればJ Aと協議しながら、パンフレットやパトロール等も実施したい。



水戸 邦夫
(無所属)

事故防止

農作業事故防止対策は

市長／J Aと協議しながら対応

ができて、遠方の産直市まで持ち込めない。そうした生産者に対する支援策と



収穫の秋 安全第一で

して、農家の出荷態勢の仕組みづくりをJ Aとともに検討しては。

市長 今後、道の駅の整備に伴う産直市の集荷強化や農家の利便性の向上のため、J Aと協議していく。

ボランティアのあり方

地域ボランティアに支援の考えは

市長／支援のための仕組みづくりを検討したい



久保 慶子 (未来創生会)

久保 無償でのボランティアには限界があると考えます。協力していただく方のお茶代やコミュニティを進めるための、少額でもいいが、支援の考えは。

市長 振興会や組織を通してやれば、お金が出しやすい仕組みになる。放っておけないので、そういう方々には、仕組みづくりを検討していきたい。

久保 地域で20〜30人の人が協力していただいているが、協力いただけないと行政が対応することになり、お茶代やコミュニティを応援するようなお金では済まなくなると思う。もう少し柔軟な対応に期待する。

（その他の質問）
○支所機能の充実に
ついて



地域ボランティアの様子

市道池之内線に安全対策を

市長／改良を含めた検討をする



金行 哲昭 (政友会)

金行 市道池之内線に危険なカーブがあり、安全対策が必要と考えるが。

市長 道路幅員が狭小な区間もあり、ガードレール設置を含む有効な転落防止対策を検討する。



危険なカーブ箇所

広報誌民間委託について

金行 広報誌を民間に委託するが、情報管理で問題があるのではないかと。

市長 民間への委託業務における情報管理やプライバシーの管理については、発行責任者は市である。

精神障害者の雇用義務制度について

金行 障害者差別解消支援地域協議会の設置が必要と思うが。

市長 あり方について協議している。

り、責任を持って管理する。

玉井 安心生活創造事業における登録訪問員の活動状況と成果は。

市長 市民の孤立、餓死、虐待などを防止するため、定期的な見守り支援を行うことで、総ての市民が地域で安心して暮らせることを目的に21年度から実施している。支援の内容は定期訪問による安否確認が最も多く、全体の45%を占める。定期的な連携会議や



玉井 直子
(未来創生会)

市民総ヘルパー構想

安心生活創造事業登録訪問員の活動状況と成果

市長／きめ細やかな支援体制の構築

玉井 お太助協力店
情報提供を基に、対象者の把握、支援体制の構築に努める。

の利用状況については。

市長 登録数は94店舗。細やかな支援で大変喜んでもらっている。今後も高齢者を支える仕組みづくりに取り組む。

○(その他の質問)
○保育環境について



お太助サポート帳

お太助サポート帳の活用方法



塚本 まちづくり委員会の提言を今後の本市の政策にどのようになかすのか。

市長 26年度、定住対策、地域防災、減災の3点の提言をいただいた。現在、それぞれの課題は本市



塚本 近
(新政会)

まちづくり
委員会の提言は
市長／施策の反映に努力

塚本 一般県道原田吉田線・船木上福田線の今後の改良計画と進捗状況は。

県道改良について

が最も力を入れている施策で、今後、諸課題に向けて制度の拡充を図っていく。

市長 原田吉田線は合併後、県計画で休止となったが、21年より整備事業と位置付けられ、現在21.7%の進捗率である。船木福田線は、今年の事業は上福田川の橋梁となるボックスカルバート工事を計画しており、全線改良に力を注ぐ。



委員会の提言で進むまちづくり

健康づくり

基本条例の制定は

市長／今後、全国の事例参考に研究する



前重 昌敬 (絆)

前重 健康づくりに関する施策について、基本的な事項を定め、市民の健康増進を図り、もって市民の福祉の向上に寄与する条例制定が必要な時機と考えるが。



整備が待たれる健康づくり条例

市長 条例の制定により、市民の健康づくりに対する機運を高めることができ。今後、全国の事例を参考に研究していく。

市中学校配置計画について

前重 第2期市学校規模適正化推進計画

において、校数を含めて、小学校の実施状況を勘案しながら然るべき時期に再度検討とあるが。市長 29年度から中学校についての具体的協議を開始していく予定である。

JR芸備線

向原駅ビルの空室対策は

市長／年度内には一定の方向性を示す



先川 和幸 (無所属)

工場誘致の施策について

課題を整理しながら検討する。

先川 人口減対策の大きな柱である企業誘致の手法は。市長 現在、本市の安全性、利便性等をPRし、またふるさと応援の会関東地区の人脈により、情報の収集を図っている。今後は組織改革を念頭に抜本的な対策が必要と考えている。

先川 向原駅ビルの空室対策は。市長 空室を利用して集客が見込める利用形態にするか、また雇用を確保するための利用形態にするか、地域の意見、要望を聞きながら年度内には方向性を示す。先川 駅駐車場の無料化への考えは。市長 芸備線利用客の向上や沿線の活性化には有効な手段と考えている。今後諸



空室のある向原駅ビル

青原 市道勝田根之谷線改良計画の進捗状況と今後の改良計画は。

市長 改良工事は、年々厳しさを増している国の交付金事業と合併特例債により進めているが、現在の進捗率は75%。未改良区間については、急カーブで見通しが悪く、交通量が多い状況の中で、幼稚園児の登園や小学校の児童、生徒の通学にも危険が及ぶ



青原 敏治
(未来創生会)

市道改良

勝田根之谷線改良計画は

市長／責任を持って維持

ことから、諸課題を整理し十分考えた上の検討をし、順番は私が責任を持って維持する。



ひの川幼稚園前の市道

**八千代支所の
新築移転について**

青原 八千代支所の新築移転は。

市長 支所は、防災拠点の建物としての位置付けもあり、30年度末までに基準を満たした支所として確保したい。

秋田 今年度末に水道3事業が統合となるが効果と課題は。

市長 施設の統廃合と会計一元化による経営の効率化が図られるが、繰入金等で賄っている水道料金の見直しについて検



秋田 雅朝
(未来創生会)

未給水区域の 早期解消を

**市長／総合的な判断で
前向きに取り組む**

討が必要である。

ていく。

秋田 安芸高田市水道ビジョンが策定予定だが、未給水区域解消にどのように活用されるのか。

市長 策定では給水人口や水需要の将来予測に取り組み、解消事業もビジョンに定め、計画的に進め

秋田 早期の解消を願うが、現在は給水対応ができていない地域、急を要する地域があると思うが、対応について見解は。

市長 熟度を見分けながら総合的な判断で前向きに取り組む。



地域で対応している任意水道施設

防 災

新たな想定最大浸水 区域の防災対策は

市長／生命を守る水災害 意識社会に取り組み



熊高 昌三
(未来創生会)

熊高 想定最大降雨による浸水想定区域が発表されたが、水防法の改正もあり、公共施設の浸水も想定されるなか、自治振興組織を中心とした市民との防災体制づくりをどのように考えていくのか。

市長 27年5月、水防法の改正を受け、また今回の新たな浸水想定区域発表を受け、人命を守るといふことを最優先とし、住民一人ひとり

がそのための行動がとれるための、ソフト面に重点を置き、気象情報の収集、避難情報の伝達、職員

の初動体制の徹底を図り、減災体制づくりを進める。

(その他の質問)
○JR三江線の鉄道事業廃止届を前に期成同盟会の考え方について

3 計画規模（これまで）と想定最大（今回）の浸水被害等

◆計算条件

	これまで 計画規模 降雨	今回 想定最大 規模降雨
降雨規模（尾関山流域）	江の川 1/100	過去の山陰地区最大 （江の川 1/1000越える）
降雨量（尾関山流域）	306mm/2日	479mm/48時間
流量（尾関山地点）	8,060m ³ /s	17,770m ³ /s

◆被害想定

	関係市町 対象降雨	三次市		安芸高田市	
		計画規模	想定最大	計画規模	想定最大
浸水深	浸水面積 (ha)	900	1,200	700	1,400
	三次市役所	2.52	7.10		
	三次小学校	3.96	7.69		
	十日市小学校	3.08	7.67		
	八次小学校	-	0.90		
	三次高校	0.65	4.39		
	安芸高田市役所			-	1.82
	甲立小学校			0.6	3.12
	甲田中学校			-	1.72
	可愛小学校			-	1.31
	吉田中学校			0.13	4.36

浸水被害の想定最大数値表の一部

平成28年度広島県市議会議長会主催 北部ブロック議員研修会 開催

県北3市（三次市・庄原市・安芸高田市）



28年8月23日（火）13：30～
市民文化センター（クリスタルアージュ）

講演 演題「今後の政治・経済と地方再生」
講師 黒崎 誠 帝京大学教授

視察先 安芸高田アグリフーズ株式会社
八千代の丘美術館

研修内容

- ① TPPに関しては、経済全体ではプラスと想定される。
➡このプラスのお金を貿易の自由化により価格下落した木材・米等に価格補償し、農業所得向上につなげるべき。農業を守らなければならない。
- ② 環境・土地を守っているのは地域の皆様。
➡森林、田、畑を守る事で日本は成り立っている。
- ③ 農業・環境・商工業・自治体の4つの連携が大事。

上記のように、中山間地域である北部3市の役割が大きい事をしっかり認識しました。また、3市議会議員の情報交換もでき、意義ある研修会となりました。

議会改革特別委員会中間報告

委員長：先川和幸 副委員長：熊高昌三 委員：議長を除く全議員

平成27年7月3日に設置されました議会改革特別委員会は、これまで調査検討した結果を平成28年9月16日付で、議長に中間報告書を提出いたしました。

調査の内容は、議会基本条例の制定とし、議長を除く全議員が委員となりました。

はじめに課題項目の抽出を行い、委員会内に2つの分科会を設けて、それぞれ課題項目を分担して進めました。

これまでに本委員会は9回、各分科会はそれぞれ9回開催をしました。第1分科会では議員定数及び議会報告会について、第2分科会では倫理規程及び正副議長選挙について、重点的に検証及び調査を行いました。

1. 議員定数については、定数18人の現状維持となりました。

この課題項目は、第1分科会において現状維持もしくは定数削減の議論を続けましたが、結論を出すために本委員会において、全議員へのアンケートを実施しました。それを基に検討を行い、最終的に投票による採決をとった結果、現状維持13人、定数削減5人となり、現状維持とすることに決まりました。

2. 議会報告会は、議会全体の取組みで開催しており、全員協議会において方向性を整理、定めていくことになりました。

第1分科会において議論し、議会全体

の取組みであることから全員協議会において決定することに決まりました。

3. 倫理規程については、将来において議会基本条例に条文を設けることとし、当面倫理規程の第2条に「速やかに」の語句を追加し、さらに議長が当事者となつた場合の職務代理の規定をした改正となりました。

第2分科会において議論し、倫理規程による政治倫理審査会が設置される前の段階において、疑惑の解明を速やかにかつ、あらゆる場合を想定して運用可能な倫理規程に改正することに決まりました。

4. 正副議長選挙については、「議会は議長及び副議長の選出にあたっては、その過程を明らかにしなければならぬ」と条文を設け、その方法を検討していくこととしました。その方法については、「正副議長選挙に係る立候補制及び所信表明会実施要領」を①使う。②使わない。③そのどちらかの方法をその都度、全員協議会において決める。の3案を参考に、全員協議会でも方向性を整理、定めることになりました。

第2分科会において議論しましたが、一本に絞ることができず、全体の委員会においても3案を1つに決定することは難しく、委員会から全員協議会へ送り、

今後の方向性を検討することに決まりました。

5. 議会の権能については、議会基本条例の一項目に取り上げ、議会と市長部局との緊張感の維持の議論を盛り込むこととなりました。

第2分科会において議論し、詳細な条文については、今後の検討事項として調査を行うことに決まりました。

以上、現在、議会基本条例の制定には至っておりませんが、5項目について、結論に至りました。今回までに結論が得られなかった項目や議会基本条例の制定については、引き続き調査検討することとなりました。

団体の視点から意見を議会に

告会 開催

主催
安芸高田市議会

目指し、次のステップへ挑戦

報告する形から、出向いて意見を伺う姿勢を基本に、方法を変えて行いました。

安芸高田市工業会

7月20日(水) 16:00~17:30

市民文化センター クリスタルアージョ (4階) 小ホール

議員全員(17名) 参加者(30名)



■意見交換会抜粋
Q 若者定住という課題に向けて目指す姿勢は。
A 全体的な人口を30年までに想定されている人口より、1200人程度増やそうという形を目標に掲げている。まず特殊出生率を1・8人にし、移住定住の定着人数400人を指すという目標である。執行部の掲げる目標は理想だと議会の方でも意見している。

Q 地元の高校生の就職希望が少なく、市内に残る人はごくわずかである。もっと地元の就職説明会をしたり、企業のことを考えてつながらつくってもらえたら少しでも若者が増えるのでは。
A 若者が減っている原因は、学校(教育)就職、転勤、結婚の問題であろう。何らかの魅力がそれぞれの地域にあると、いうことを若者に教えていく必要があると思う。



(その他質問抜粋)
○女性の産休後に子どもを預ける場所がなく困った例があった。今、子どもを受け皿の状態はどうなっているのか。
○毎日、広島市内から通勤している人が4000人いる。その中でも工業会の従業員が2000人いると聞いた。企業に対し優遇措置を取る等考えてもらいたい。

「若者定住に向けて」と題して 28年度 議会報 新しい議会報告会のあり方を

今回の議会報告会は、毎回試行錯誤してきた参加者の増を図る新たな試みとして、

ひろほく農考会

8月4日(木) 19:30~21:00
市民文化センター クリスタルアージュ (2階) 文化ホール
議員全員(17名) 参加者(31名)

安芸高田市商工会青年部も参加
いただきました。



人口減少に歯止めをかけた。

Q 乳幼児医療を高
校生まで引き上げる
取組みをしている
が、これにより若者
が増えているのか。

A 乳幼児医療は8
月1日からなので、
どれだけ伸びたかは
これからだと思う。

全国的には45歳くら
いまでが若者世代と
言えるのでは。

Q 若者とは、どの
くらいの年代を対象
に考えているのか。

A 国の方針では、
結婚、出産の希望を
叶える世代を言い、

ある。

末永くやってもらえ
るよう議会も行政に
提案していく必要が
ある。

指す。今ある企業に
口の維持、増加を目
指す。今ある企業に
末永くやってもらえ
るよう議会も行政に
提案していく必要が
ある。

適切に結果、その時は
適地がなかった。働
く場、住む場、育て
る場を整え、定住人
口の維持、増加を目
指す。今ある企業に
末永くやってもらえ
るよう議会も行政に
提案していく必要が
ある。

A 市もそれぞれの
地域で候補地を検討
した結果、その時は
適地がなかった。働
く場、住む場、育て
る場を整え、定住人
口の維持、増加を目
指す。今ある企業に
末永くやってもらえ
るよう議会も行政に
提案していく必要が
ある。

今ある企業を大事に
してもらえる政策を
取ってほしい。

Q ある企業が三次
に移転するのではと
話があつたが、まさ
しく雇用の場が失
われることになる。
元々ある企業をしつ
かりつなぎ止めるよ
うな市の関わりや優
遇措置を取るなど、
今ある企業を大事に
してもらえる政策を
取ってほしい。

Q ある企業が三次
に移転するのではと
話があつたが、まさ
しく雇用の場が失
われることになる。
元々ある企業をしつ
かりつなぎ止めるよ
うな市の関わりや優
遇措置を取るなど、
今ある企業を大事に
してもらえる政策を
取ってほしい。



休みの日に人が集
まって来るまちに
なつてほしい。

○日曜日休日を楽し
く過ごせるまち、
休みの日に人が集
まって来るまちに
なつてほしい。

○安芸高田市の魅力
を自分たちも発信
するが、市として
まとまって発信で
きれば、よそから
も集まってくるの
では。

○安芸高田市の魅力
を自分たちも発信
するが、市として
まとまって発信で
きれば、よそから
も集まってくるの
では。

○三江線の営業が難
しいという新聞記
事を読んだ。議会
としてはどんな考
えか、跡地利用も
含めて伺いたい。

○三江線の営業が難
しいという新聞記
事を読んだ。議会
としてはどんな考
えか、跡地利用も
含めて伺いたい。

(その他質問抜粋)

高校生と議会との意見交換会

選挙権が「18歳以上」に引き下げられたことから、高校3年生を対象として、議会のしくみ等の説明を行うほか、意見交換を通じて「議会に関心を持ち理解を深めてもらう。選挙の重要性を認識してもらう。まちづくりに参画する意識を持って考えてもらう。」ことを目指して、新しい取り組みを試みました。議会報告会を活用し、両高校と連携をして高校生と議員との意見交換会を行いました。

吉田高校

7月13日(水)
15:30~16:25

「テーマ別にグループに分かれて意見交換」



交通の利便性、待機児童と保育士不足、観光地や観光資源、宝を磨く、自然災害対策、安心して暮らせるまちづくり、トップスポーツの振興など、生徒から提案がありました。

意見・要望抜粋

- 今回の意見交換会で私たちの意見も取り入れようとしてくださる姿勢に感動しました。
- 市のことをもっと関心を持つという気持ちになりました。
- 市民が意見を言える場を増やした方が良い。
- 安芸高田市に若者が集える店が少ない。



向原高校

7月20日(水)
13:35~14:25

「テーマ別にグループに分かれて意見交換」

意見・要望抜粋

- 議員の方と話すことができ、いろいろ発見ができよかった。
- 違う視点から見た意見、財政を含めた意見、普段では聞くことのできないことが聞けてよかったです。
- 市をよくするには自分が誇れるもの考える必要がある。

「人が集い育つ、安心して暮らせる、地域資源を生かして」など、まちづくりのテーマについて、生徒から提案がありました。



第3回臨時会

8月26日に第3回臨時会を開催し、農業委員会委員の任命に係る同意12件を審議しました。

同意（12件） ○農業委員会委員の任命

水重 克幸 さん	秋國 満 さん
吉田町常友	高宮町来女木
村上 一夫 さん	田中 秀之 さん
吉田町竹原	高宮町船木
上田 隆司 さん	沖田 良次 さん
八千代町佐々井	甲田町下小原
富田伊久夫 さん	光永 直義 さん
八千代町向山	甲田町上甲立
桑原 博 さん	田槇 憲司 さん
美土里町北	向原町長田
津田 義則 さん	信川 進吾 さん
美土里町本郷	向原町坂

同意

議会のうごき

議会のうごき 28年7月～9月の議会の主な活動状況

7月

- 6～ 文教厚生常任委員会
- 8日 先進地視察研修
- 11日 全員協議会
議会運営委員会
- 13日 高校生と議会との意見
交換会（吉田高校）
- 19日 議会運営委員会
第2回臨時会
市長の出張旅費に関する
事務検査特別委員会
- 20日 全員協議会
高校生と議会との意見
交換会（向原高校）
議会報告会
- 22日 議会広報特別委員会
- 26～ 産業建設常任委員会
- 27日 先進地視察研修
- 27～ 総務企画常任委員会
- 29日 先進地視察研修

8月

- 4日 議会広報特別委員会
議会報告会
- 10日 議会運営委員会
- 17日 市長の出張旅費に関する
事務検査特別委員会
- 19日 議会運営委員会
- 22日 市長の出張旅費に関する
事務検査特別委員会
- 23日 北部ブロック議員研修
会
- 26日 第3回臨時会
全員協議会
議会改革特別委員会

9月

- 2日 議会運営委員会
全員協議会
- 8日 議会広報特別委員会
- 9日 第3回定例会（開会）
- 13日 予算決算常任委員会
- 14日 第3回定例会（一般質問）
- 15日 第3回定例会（一般質問）
- 16日 全員協議会
- 20日 総務企画常任委員会
- 21日 文教厚生常任委員会
- 23日 産業建設常任委員会
- 26日 予算決算常任委員会
- 27日 予算決算常任委員会
議会運営委員会
- 30日 第3回定例会（最終日）
全員協議会

■28年第4回定例会は12月上旬から
開会を予定しています。

※詳細は、お太助フォンや市のホームページで
お知らせいたします。

地域のかがやき

吉田 地域の祈り 高猿神楽団



吉田生活改善センター (9月17日)

八千代 感謝を込めて 長寿を祝う敬老会



佐々井地域振興会 (9月18日)

美土里 中学生の巫女による 「浦安の舞い」



横田八幡神社の祭典 (9月17日)

高宮 B&G財団8月チャレンジで 全国第3位に入賞



高宮B&G海洋センター (9月9日表彰)

甲田 元気に楽しく グラウンドゴルフ大会



高地地域振興会 (10月16日)

向原 鷹の巣山ふもとでの間伐体験



向原小学校5年生 (9月16日)

編集後記

月日がたつのは早いもので、議会だよりの発行に携わって4年になるうとしていきます。

議員になり、右も左もわからぬままの取り組みでしたが、議案の審議内容も含め、振り返りながらの原稿作成は、とても貴重かつ有意義な経験をさせていただき、ありがたく感謝を申し上げます。

「公平で、わかりやすく、」読んでいただく」をモットーとして取り組みをしてきたつもりですが、ご意見をいただきたながら、次に生かしていければ良いと思います。

少しでも、市民の皆様と議会の距離が近づけばと、願っております。
(久保慶子)

〈発行責任者〉

議長 藤井 昌之

〈議会広報特別委員会〉

委員長 秋田 雅朝
副委員長 久保 慶子
委員 玉重 輝吉
玉井 直子

下岡多美枝
熊高 昌三